

創造力あふれる独特の筆致で描かれた石田徹也のアート作品は、現代に生きる若者たちの苦悩や葛藤、現代社会の矛盾や不条理を、ときにユーモラスに、ときに風刺的に浮き彫りにします。石田徹也の心のメッセージが、鑑賞者に強烈なインパクトを与え、共感や波紋を巻き起こします。命を燃やして翔けぬけた10年の創作期間のなかで、残された作品は200点以上あり、そのひとつひとつが細部まで丁寧に描かれており、その斬新な世界観で、近年とみに国内外からの評価が高まっています。今回の展示では、本人の残した直筆の「夢日記」や「アイデアノート」の言葉を手がかりに、その作品世界に迫ります。また、絵筆やパレット、キャンバスを立て掛けたビールケース、大きな作品を描く際に使った脚立など、作品の制作現場を彷彿とさせる本人の仕事道具や、制作当時の時代を象徴する品々なども展示します。石田徹也が生きた時代を感じながら、独特な世界観で彩られた石田徹也ワールドをお楽しみください。



本人直筆のノート

石田徹也

(1973-2005)

画家。静岡県焼津市出身。

県立焼津中央高校を経て、武蔵野美術大学を卒業後、東京に居を構えて精力的に絵画の制作を行った。1995年、22歳でグラフィックアート「3.3m展」でグランプリを受賞したのを皮切りに頭角を現し、2001年、VOCA展奨励賞の受賞により、気鋭の現代美術家としてさらなる活躍が期待された矢先、2005年に踏切事故により31歳の生涯を閉じる。没後、遺作展や遺作集で作品が広く知られるようになり、NHK「新日曜美術館」でも紹介され、奇想天外で非現実的な彼の作風が鑑賞者に大きな衝撃を与え、注目を浴びている。



《飛べなくなった人》 静岡県立美術館蔵



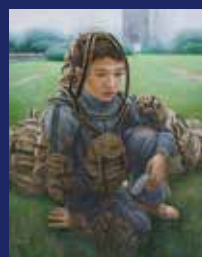
《燃料補給のような食事》 静岡県立美術館蔵



愛用のパレットと絵筆



キャンバスを立てたビールケース



《不通》 個人蔵



モデルになったバック

ピカソの《ゲルニカ》が展示されている、スペインの国立美術館——
ソフィア王妃芸術センターでの個展が来年4月に開催決定！
世界で認められた、焼津市出身の夭折画家・石田徹也——
その貴重な作品50点が、藤枝市に大集結！

関連イベント

記念講演会「石田徹也とその時代」

石田徹也アートを長年追いつけてきた第一人者が、彼が生きた時代背景や制作意図を踏まえながら解説します。

と き／8月5日(日)午後2時～3時30分

ところ／文学館講座学習室

定 員／60名

講 師／堀切正人氏(常葉大学准教授・常葉美術館長)

ワークショップ「石田ワールドにとびこもう！」

常葉大学生によるワークショップ。大学生といっしょに鑑賞しながら写真撮影をし、簡単な工作をします。

と き／8月11日(土)、12日(日)

各日①午前10時30分～11時30分、②午後2時～3時

集 合／博物館講座視聴覚室

定 員／各回10名程度(先着順)

案 内／常葉大学のみなさん

持ち物／写真撮影のできるスマートフォン(貸出もあります。)

アートトーク「石田徹也の-artを語る」

藤枝ゆかりの若手芸術家が、独自の視点で石田徹也作品に迫る、参加型のアートトークです。

と き／9月2日(日)

午後1時30分～3時30分

ところ／博物館・文学館展示室

定 員／50名

出 演／持塚三樹(画家・藤枝市在住)

田山湖雪(写真家・藤枝市出身)



焼津中央高校合唱部による声楽イベント

石田徹也の母校である焼津中央高校合唱部の生徒たちが、名物の高校生オペラや日本の歌を披露します。

と き／9月23日(日)

①午前11時～11時30分

②午後2時～2時30分

ところ／博物館エントランスホール



事前申し込みは必要ありませんので、お気軽にご参加ください!

<各イベントのご参加には、大人の方は入館料が必要です。(中学生以下無料)>